

## 【緑区】令和6年第1回区づくり推進横浜市議会議員会議 議事録

開催日時	令和6年2月5日 午後2時25分 ～ 午後3時35分
場 所	緑区役所4階 会議室4AB
出席者	<p>【座 長】高橋正治 議員</p> <p>【議員：3名】鴨志田啓介 議員、越久田記子 議員、斉藤達也 議員</p> <p>【緑区：23名】佐藤康博 区長、河村義秀 副区長</p> <p>宮嶋真理子 福祉保健センター長</p> <p>安達恒介 福祉保健センター担当部長</p> <p>得能千秋 緑土木事務所長</p> <p>齋藤優子 担当部長（緑図書館長） ほか関係職員</p>
議 題	1 令和6年度 個性ある区づくり推進費 予算案
発言の 要 旨	<p><b>議題1 令和6年度 個性ある区づくり推進費 予算案</b> (区長、副区長説明)</p> <p><b>【1 災害に強いまちづくり事業】</b></p> <p>斉藤議員：「高齢者等要援護者や女性視点を盛り込んだ拠点備蓄品の購入」とあるが、品目、配備数及び配備場所について教えてもらいたい。</p> <p>齋藤総務課長：各地域防災拠点に高齢者向けの物品として、折り畳みベッドを5セット、折り畳みマットを9セット配備しています。また、女性や子ども向けの物品として、防災ブザーを10個、夜トイレ等の暗いところを照らすための人感センサーライトを4台、間仕切りテントを2基ずつ配備しています。なお、現在、東洋英和女学院大学と連携し、必要物品について女性視点でのアドバイスをいただいているところで、今後も物品を増やしていくことを考えています。</p> <p>斉藤議員：今年1月に能登半島地震が起きたこともあり、区民の地震に対する意識が非常に高まっている。これまで拠点訓練に参加してこなかった方々の参加も想定されるため、備蓄品等しっかり準備し、想定外がないよう取り組んでもらいたい。</p> <p>鴨志田議員：能登半島の避難所では、テントやブースで仕切られている様子が見られるが、緑区の状況はどうなっているのか。</p> <p>齋藤総務課長：区役所から各拠点に間仕切りテント、ポップアップテントを配備しています。避難されてくる方の人数にもよりますが、基本的なプライバシーを守る配慮をしています。</p>

鴨志田議員：液体ミルクの賞味期限が延びたということで、次年度改めて配備されると思うが、この賞味期限について把握していることはあるか。

齋藤総務課長：液体ミルクの賞味期限は取り扱っている業者によって異なりますが、18か月と聞いています。実際には同等品可として発注し、追加配備する予定と聞いています。

鴨志田議員：非常用離乳食や液体ミルクの備蓄について、区内の子育て関連施設など、子育て中の方々にアプローチできるような広報をお願いしたい。

### 【5 暮らしの衛生推進事業】

齊藤議員：ペット同行避難訓練を実施している拠点数はどれくらいか。

田中生活衛生課長：過去2年間で、緑区内22拠点中13拠点にペット同行避難スターターキットを配備しています。また、この2か年間で、犬を実際に連れてくるかどうかは別として、ペット同行避難のメニューを含む拠点訓練を支援させていただいた拠点が9か所ありました。

齊藤議員：以前と比較すると取組拠点が徐々に増え、半数を超えて進んできている。一方で同行避難の取組を実施できていない、受け入れられない拠点の理由は把握しているか。

田中生活衛生課長：拠点にとってコロナ感染症の対策なども重要な時期でもあり、人のための取組の優先順位が高い、という意見を聞くことがありました。そういった意見に対し、ペット同行避難はペットのためではなくて、人が安心して必要なときに避難できるための対応だということを粘り強くお伝えしているところです。

齊藤議員：まさに、ペット同行避難は人のためのもの。ペットを連れた避難者は必ず来るので、少しでも拠点での受入準備が進む方向で、区から各拠点、運営委員等へ支援を進めてもらいたい。例えばピンク色の冊子（ペットとの同行避難対応ガイドライン「災害時のペット対策」）の読み合わせの実施なども良いのではないか。能登半島地震を教訓とし、今できる取組を引き続き進めて欲しい。

### 【18 みどり地域まちづくり推進事業】

齊藤議員：山下地域交流センター活用事業について、現在サウンディングが行われていると聞いているが、事業の進捗状況を教えてもらいたい。

尾立区政推進課長：サウンディングについて、現在実施段階であるため事業者数は公表できませんが、複数の事業者から申込みをいただいでいて、2月6日から月末にかけて調査を行っています。また、地域の皆様とのアイデア会議を11月、12月に行い、1月には検討会を行っておりますので、今後の進め方について一緒に確認しながら進めているところです。

斉藤議員：道の駅やマルシェ、コワーキングスペースなど、山下地区の田園風景の魅力を生かしたり、農機具の展示など実現できるとよい。山下地区の自治会ははじめ、地域住民と相談しながら持続可能な施設になるよう進めてもらいたい。

### 【19 ふるさとみどり魅力発信事業】

斉藤議員：都筑区における区内中小製造業のPR事業「メイドインつづき」と同様、「メイドインみどり」の実施を検討してもらいたい。緑区内ではあまり知られてはいないが、工場や事業所がそれなりの数存在しており、やり取りすると非常に意欲的で、そういう取組があればぜひ協力したいという声も聞く。横浜北工業会の事務所が中山にあるので、そことの連携も含め、もう少し事業所に光を当ててもよいと考える。

佐藤区長：飲食店等の紹介は多くの区で取り組まれています。中小の製造業等のPR事業はこれまで緑区では取り組まれていないと思います。これまでも事業所防犯協会の方と話をする機会もあり、この事業をどのような手法で進めれば効果的か、地元の企業にも貢献できるよう、議員の皆さまからもアドバイスいただきながら考えていきたいと思っています。

### 【20 みどり脱炭素推進事業】

鴨志田議員：2030年のSDGs目標達成とあるが、中間地点として今の状況と、緑区としての目標設定をどこに置くのか。

佐藤区長：数値化という点では、明確な答えを示すことが難しい状況です。区役所の強みは、地域とつながっているいろいろな行動できるということで、生活に根差したごみの分別など、区民の皆さまにしっかり理解していただきながら進めていく必要があります。また、公共施設のLED化や太陽光パネル設置、自治会館の省エネ化支援などにも取り組みつつ、家庭におけるエネルギー排出抑制のご理解ご協力を得るため、区として取組を進めていく必要があると認識

しています。

鴨志田議員：ロードマップを作って進捗管理していくよりも、区民の皆さま、区役所、議員それぞれがSDGsというものを強く意識し、協力しながら様々な取組を進めていくことが大切。

### 【29 みどりスポーツ振興事業】

鴨志田議員：緑スポーツセンターの改修工事について、和式トイレが1つだけ改修されて洋式トイレになったが、施設内の和式トイレはまだ6つ残っている。和式トイレは高齢者や子どもにとって使いづらいものとなっていて、緑区内の公共施設は早急に洋式化を目指していくべきだと思っている。東日本大震災以降、仮設トイレも全て洋式で作られてきているため、この件について真剣に考えていただきたい。

佐藤区長：お話しいただいた内容は、全くそのとおりだと認識しています。市の施設についても、新設の場合は洋式・洗浄トイレを設置しているかと思います。予算の制約もありますが、局に対する予算提案制度も活用しながら対応していきます。

鴨志田議員：スポーツセンターをはじめ区内の市民利用施設のトイレ洋式化を進めていただくことで、小学校の和式トイレを無くしていくキッカケにしていきたい。

### 【緑警察署跡地について】

鴨志田議員：昨年12月に緑警察署跡地で開催されたミドリマルシェは大盛況だった。この場所が空いている状況はもったいないため、GREEN×EXPO 2027の関連イベントや、例えば商店街プロレスなど他イベントでも活用してもらいたい。

佐藤区長：土地の管理などいろいろ要件はありますが、マルシェについては、あれだけ人気がありましたので、できるところから取り組みたいと考えています。プロレスの件は、現在調整しているところです。それ以外についても、特にGREEN×EXPO 2027に向けてプロモーションが必要となりますので、議員の皆さまからもアイデアをいただきながら取組を進めます。

齊藤議員：緑警察署跡地の隣にあるスポーツクラブNASと話をする機会があり、スポーツ関係のプログラムなど様々な部分で協力可能とのこと。跡地活用など、区民の方からのアイデアを広く募集し、出て

	<p>きた内容を GREEN×EXPO 2027 と連携させてもよい。以前から話をしているプロレスについて、コロナ禍を経て年齢が高い世代の方々の外出促進につながると考えている。</p> <p>佐藤区長：警察署跡地については課題もいろいろありますが、できる取組を進めていきたいと思っています。</p> <p>斉藤議員：イベントを行う際は、トイレの設置も検討してもらいたい。</p> <p><b>【デジタル区役所について】</b></p> <p>鴨志田議員：デジタル区役所としての「書かない窓口」について、緑区での導入予定を教えてください。</p> <p>尾立区政推進課長：令和4～5年度に西区と港南区でモデル実施している取組で、6年度から全18区の戸籍課で導入予定です。</p> <p>岡部戸籍課長：マイナンバーカード等を読み取り、申請書の作成ができる Caora（カオラ）という機器を緑区でも試行運用しました。利用者からは、書く手間が省けるということで、使い勝手がいいとのご意見がありました。特に外国人の方について、申請書の記載に時間がかかったり、書かれた文字を職員が読み取れず確認したりしていましたが、マイナンバー等に登録されている内容がそのまま出力されるようになるため、双方にとって使い勝手がよくなるかと考えています。</p>
備 考	